



大森正治 議員

# 町道中山

## インター線は中止を

### 町長 計画通り実施する

#### 問

新設道路として、町道中山インター線の建設計画が、平成22年度予算に提案された。これは22年度から25年度まで、総事業費4億円、6割が国からの補助事業である。

しかし、次の理由で、この道路は不要不急と考える。○国道9号線と結ぶ既存の道路が3〜4本あり車で1分半〜3分で通じているので、新設道路ができてもし便性はそれほど変わらない。



曲松の9号線にアクセス予定

○既存の道路は幅員が十分あり、歩道も設置され、安全性が確保されている。  
○この道路新設は町民の要望にもとづいていない。  
○財政難の折、このような道路に巨費を投ずるのは、町民感情として認められない。

①この町道を新設する理由は何か。  
②この道路計画は住民の要求にもとづくものか。地権者等住民には事前に説明をしたのか。

#### 答 森田町長

③道路新設は何にもとづいて計画されるのか。  
④これよりも優先して改良を要する道路があるのではないか。

①国道9号に向け道路を延伸し、分かりやすく利便性の高い道路として整備する。  
②旧町時代から必要性が強く出され、新町まちづくりプランにも組み込まれた住民の思いの強い道路計画だ。「国道9号塩津地区交差点改良協議会」の中で説明している。今後ルートをどうするか住民、地権者へ詳しく説明する。

③地域振興、活性化、利便性の向上、観光開発目的の重要な公共施設へのアクセスなど。中でも、地域振興は最も重要な要素だ。

④神原交差点の拡幅は、中高集落から神原交差点までの道路拡幅・歩道整備計画と併せて調査・計画検討が現在行われている。

#### 問

## よりよい保育行政を

### 教育委員長

### 再編は意見を聞きながら

保育所再編検討会の案は、中山地区だけが拠点保育所1園のみである。これに対して、中山地区の「再編について意見を聞く会」では反対意見が多く出された。

いま、保育の原点に立ち返って、施設・設備の整備、人的な環境の改善を図る必要がある。

①再編に当たっては、拙速主義にならないよう保護者・住民の納得と合意を得ながら進めるべきではないか。  
②上中山保育所をサブ保育所として存続させて、中山地区にも2園とする選択肢も考えられるかどうか。



子どもにより良い保育を

#### 答 伊澤教育委員長

③検討会の意見だけでなく、広く保護者や保育士の要望も取り入れ、みんなに喜ばれる拠点保育所をつくるべきではないか。  
④サブ保育所と拠点保育所の施設・設備面で格差が開かないよう、サブ保育所の改善についてどう考えているか。

⑤保育士の人的な環境改善も重要。正規職員数を増やすことによつてその割合を高くすべきと考える。具体的計画は。

④将来は拠点保育所に統合することも視野に入れ、施設整備は保育に支障のない範囲にとどめる。  
⑤昨年は正規職員を増やした。今年もその予定。拠点保育所整備の進み具合をみながら、今後の雇用計画を進める。

①緊急対応を必要とする保育所もあるので、保護者・